

2020年度「新聞広告クリエイティブコンテスト」結果発表 テーマは「広告」

全国の若手クリエーターなどから880作品の応募があり、広告界の第一線で活躍する副田高行、一倉宏、川口清勝、児島令子、照井晶博、服部一成の各氏と日本新聞協会広告委員会による厳正な審査を経て、受賞作品を決定しました。

優秀賞 「もし、あのとき広告できたなら。」

代表=山形孝将(ADKクリエイティブ・ワン) 共同制作=石原千明、澤谷直輝



もし、あのとき
広告できたなら。

ロビー賞「広告支えるマン」

代表=坂口和矢(佐賀広告センター) 共同制作=吉岡龍昭



広告は俺が
記す何とかする!
記事はまかせた
ぞおおお!

優秀賞 「不要不急に、愛を。」

代表=星駿宏(ADKクリエイティブ・ワン) 共同制作=齊藤正和



不要不急に、愛を。

優秀賞 「手紙」

代表=後藤花菜(読売広告社) 共同制作=黒田夏葉

デザイン賞「政府に好き勝手言える国」

守谷直紀(ノン・アソシエーション)



政府に好き勝手言える国。

おばあちゃんは、あたらしい。

特別賞「おばあちゃんは、あたらしい。」

代表=佐藤恭司(アドビジョン) 共同制作=リサ・イサキ、馬場柚杏、沖山哲弥、石井英



おばあちゃんの健康の未来は
新聞広告だと思つ

学生賞「外の世界」

池田愛花(広告デザイン専門学校)



好きな情報しか
ない世界なんて
つまらない